

7-Eleven, Inc.とPT. Modern Putra Indonesia

インドネシアにおける店舗展開のマスターフランチャイズ契約を締結

世界で約36,000店を展開するコンビニエンスストアチェーン最大手の7-Eleven, Inc.(本部:米国テキサス州ダラス)は、インドネシア・ジャカルタのPT. Modern Putra Indonesiaとマスターフランチャイズ契約を行い、初めてインドネシアにおけるセブン-イレブン店舗の展開を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

PT. Modern Putra Indonesiaは、PT. Modern International TBK(傘下にフジイメージプラザ、フジフィルムデジタルイメージング、フジフィルムイメージサービス、リコーコピー機、エムフォトスタジオ等を持つ企業グループ)の子会社のひとつで、写真関連商品の小売と同時に、写真・電子・通信機器製品のメーカーとして、インドネシア国内に1,000ヶ所以上の拠点を展開しています。

今回の契約締結により、インドネシアはアジア地域で12番目に7-Eleven, Inc.よりセブン-イレブン店舗営業のマスターフランチャイズを供与された国・地域となります。

(他に、同様の契約をしているアジアの国と地域は、フィリピン、シンガポール、マレーシア、日本、オーストラリア、台湾、マカオ、中国、韓国、香港、タイです。)

インドネシア1号店のセブン-イレブン店舗は今年後半の開店を目標としており、当面はジャカルタの人口密度が高い商業・オフィス地区に集中出店を行い、その上で、ゆくゆくはBandung, Semarang, Surabaya等の主要都市に出店していく予定です。

また、世界的に人気の高い冷凍炭酸飲料の「スラーピー」、ソフトドリンクの「ビッグ・ガルブ」やコーヒーの「カフェ・セレクト」の他、インドネシアの嗜好にあったファスト・フード等、コンビニエンスストアとして利便性の高い商品を品揃えし、品質の良い商品をお求めになるお客様や、忙しい日常生活の中でも妥協せず高い要求をお持ちのお客様のニーズにお応えして参ります。

◆7-Eleven, Inc.について

7-Eleven, Inc.は、米国テキサス州ダラスに本部を置くコンビニエンスストア業界最大のチェーン。北米(カナダ、メキシコを含む)ではフランチャイズ、エリア・ライセンス等、約7,800店舗を展開し、また、世界では15ヶ国で約36,000店舗を展開しています。2005年にはセブン-イレブン・ジャパンの完全子会社となり、2007年には小売業のみならず、ファスト・フード店を含めても世界最大の店舗数を誇るチェーンとなり、2008年の世界全店の売上は、537億ドルとなっています。(詳細は<http://www.7-Eleven.com/>)